# 校長室から ひがしなら通心

（Ｈ２９年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．１

平成２９年４月１０日（月）発行

## 東奈良小の「ひ・が・し・な・ら」

平成２９年度の新学期がスタートしました。子どもたちは、新しい教室で、新しい先生や友だちと新たな気持ちで頑張ろうと思っています。本年度も学校教育目標である

「自ら考えて、進んで行動する子どもの育成」

の具現化に向けて、教職員一同がんばっていく所存です。

さて、本校の期待される学校像は、次の通りです。

「児童にとって楽しい学校」
「教職員にとって活力ある学校」
「地域にとって開かれた学校」

・Change　学校を　子どもを変えていく
・Challenge　魅力ある教育課程を編成し、創意工夫ある教育活動の実施
・Chance　学校･地域･家庭との連携を深め、特色ある教育の推進

この具現化に向けて、「ひ・が・し・な・ら」で言葉を考えてみました。

### 「ひ」とつにみんなでまとまろう！

・学級、学年、学校が好き → 愛校心

### 「が」くりょくと体力をのばそう！

・しっかり学習する子 → 茨木市の５つの力の 学び力 と 体力

### 「し」っかり生活しよう！

・掃除や係活動など、何事も一生懸命取組む子 → ５つの力の 自分力

### 「な」かよく友だちとすごそう！

・つながりを大切にする子 → ５つの力の つながり力

### 「ら」んらん 夢に向かう 東奈良っ子！

・夢に向かってかがやく子 → ５つの力の ゆめ力

子ども達には、この「ひ・が・し・な・ら」を意識して、毎日の学校生活を頑張って欲しいと思っています。

## ためになる本を見つけました。

「みんなのためのルールブック　あたりまえだけど、とても大切なこと」
ロン･クラーク　草思社

ロン･クラークさんは、アメリカの小学校の先生です。２０００年に、ディズニー社が選ぶ「全米最優秀教師賞」を受賞した、すばらしい先生です。

この本には、クラーク先生が担任するクラスでいつも教える大切なルールが紹介されています。子ども達が、お互いに思いやりをもって楽しく勉強できるように、そして大人になってからも、毎日を大切にして、充実した人生を送れるようにとの願いをこめてつくられた、５０のルールです。クラーク先生が子どものときに祖母から教わった礼儀作法もたくさん入っています。これから一つずつ紹介していきますね。

### ルール１　大人の質問には、礼儀正しく答えよう

大人の質問に答えるときには、「はい、そうです」とか「いいえ、ちがいます」というように、いつもきちんとした言葉づかいで答えよう。

●大人はみな、きみたちから敬意をもって接してもらいたいと思っている。きみが礼儀正しい言葉づかいで話せば、大人もきみの話をきちんと聞いてくれるだろう。

## 「ひがしなら通心」創刊に寄せて

通信のタイトルである『ひがしなら通心』とは、『通信』の書き間違いではありません。わざと『通心』としました。その意味は、学校と保護者や地域の方々が、interactive（インタラクティブ）「双方向」に意見や情報を交換できるようになれることを理想としています。また、単なる『通信』ではなく、心の通い合う『通心』になれることを願っています。

これから一年間、どうぞよろしくお願いします。